

新除草・調節剤

トクノール乳剤

NTN5006除草剤

(取扱メーカー) 日本特殊農薬製造株式会社

対象作物: 芝(コウライシバ・ヒメコウライシバ・
ノシバ)

性状・作用特性: 本剤の有効成分は、O-エチルO-(2-ニトロ4-メチルフェニル)N-イソプロピルホスホロアミドチオエートで、50%を含有する乳剤である。

本剤の芝地での試験は、昭和44年以来、東京都農試、栃木県農試、植調研究所並びに関東各地のゴルフ場において、除草効果および芝への薬害試験をくりかえし行ってきた。

除草効果試験の結果では、雑草発芽前処理で、芝地内に発生するイネ科1年生雑草並びに広葉雑草に対して、アール当たり60~80cc処理区で高い効果が得られ、雑草発生抑制期間も、特にイネ科雑草に対しては、90日~120日におよぶ場合があった。たゞ、キク科雑草が優占種である芝地においては、本剤の効果が劣るので使用はさけられるべきである。

現在まで供試された芝の種類としては、コウライシバ、ヒメコウライシバ、ノシバ、ベントロス・ベントグラス、などがあるが、アール当たり60~80ccの薬量では、コウライシバ、ヒメコウライシバ、ノシバに全く薬害の恐れはない。しかし、ベントについては、試験例数が少ないので、継続して試験を行なうことになっている。アール当たり100cc処理しても問題のない場合、100cc以下の薬量でもすぐ回復するが若干葉先の枯れる場合(芝の植付年次が

関係するのではないかとの意見もある)もあるので、薬害を絶対回避しなければならないベントグリーンでの使用については、今後とも実用試験を重ねる予定である。

毒性: 急性経口毒性は720mg/kg(ラット)、680mg/kg(マウス)、急性経皮毒性は4000mg/kg、魚毒性はB類である。なお、植物体中の分解が容易かつ速やかであるので、残留性は問題にならない。

使用方法: イネ科1年生雑草および広葉雑草(キク科雑草を除く)を対象とし、1アール当たり60~80ccを30ℓの水で希釈し、雑草発芽前に土壌処理する。

ニップ水和剤

NIP除草剤

(取扱メーカー) 三洋貿易株式会社

対象作物: 芝(コウライシバ・ヒメコウライシバ)

性状・作用特性: 本剤の有効成分は、2,4-ジクロルフェニル-4-ニトロフェニルエーテル(NIP)50%の水和剤である。

NIPは現在、水田、園芸畑作物、山林苗畑で使用されている非ホルモン接触型の除草剤で、接触害作用は選択的である。

本剤の芝に対する安全性は、コウライシバ、ヒメコウライシバに対しては特に安全性がある。除草効果は、メヒシバ、スズメノテッポウ等のイネ科雑草には特効的に効き、その他1年生の雑草にも高い効果がある。土壌水分、降雨条件、温度条件によるフレも少なく、また永年使用による土壌への蓄積害のおそれも少ない。特に根からの吸収害がないので、造成中やスリ切れた